

令和元年度第5回地方独立行政法人京都市立病院機構理事会 議事録（要旨）

- 日 時： 令和元年9月24日（火） 午前10時30分から12時00分まで
- 場 所： 市立病院本館5階会議室
- 出席者： 理事長 森本 泰介
理 事 森 一樹, 黒田 啓史, 半場 江利子, 松本 重雄, 能見 伸八郎,
山本 みどり, 白須 正
監 事 長谷川 佐喜男, 中島 俊則
事務局 折戸経営企画局次長, 長谷川担当部長, 濱口経営企画課長,
北川京北病院事務長

1 開会

2 議事・報告等

(1) 月次収支（7月まで）報告

資料1に基づき、折戸経営企画局次長から説明

- 消費税増税への対策は考えているのか。
→ 材料費については、価格交渉を行うほか、購入時期の調整を行う等の対策を講じている。
- 京北病院の収益が下がっているが。
→ 一般病床の新入院患者が少ないことが影響している。
- 経費削減について、電気代等の交渉など、減らせるところは減らすよう努力していただきたい。
- 前年度と比較し、価格交渉が厳しい状況となっている。高額薬品についてはどうか。
→ 薬価の価格交渉については、新薬の値引きが厳しい。国から通達が出ている点も踏まえる必要がある。
- ジェネリック医薬品の拡大を図るべきではないか。
→ 適用があるものについては、一品ずつ切替えを行っている。
- 未収金の回収状況は。
→ 他病院と比較して回収率は高い。区役所と連携する等して、未収のないようにしている。

(2) 収益状況月次（8月分）報告

資料2に基づき、折戸経営企画局次長から説明

- 8月の紹介患者数が低い。
→ お盆等の影響が考えられる。紹介患者を増やすために、開業医訪問等を継続的に実施しているが、診療科ごとの訪問数を一覧表にして、診療科部長と共有し、訪問への働きかけを行っている。
- 10月以降、体制強化も予定している。開業医訪問をはじめ、救急や手術件数の増加等に引き続き取り組んでいく。

(3) 収緩和ケア病棟の設置について

資料3に基づき、折戸経営企画局次長から説明

- 緩和ケア病棟の対象は、院外から来られる患者さんを対象とされているのか。
→ 院内・院外問わず患者さんを受け入れていく。

- 診療報酬の影響は。
- 一般病床の入院基本料と比較しても緩和ケアの入院基本料は高い。
- 緩和ケア病棟は病院によって特徴がある。市立病院の特徴について、対外的なアピールをしっかりと行っていただきたい。

(4) 訴訟案件について

資料4に基づき、長谷川部長から説明

3 閉会